

其色之深... 中夜... 我... 二月... 善良祝...
其色之深... 中夜... 我... 二月... 善良祝...
其色之深... 中夜... 我... 二月... 善良祝...

月... 年... 中...
月... 年... 中...
月... 年... 中...

由... 切... 年... 山... 柳... 九...
由... 切... 年... 山... 柳... 九...
由... 切... 年... 山... 柳... 九...

一... 多... 自...
一... 多... 自...
一... 多... 自...

一 房山行宮... 雙... 年...

一 改... 終... 一...

一 口... 存...

頌風應節送

頌風相送仙舟穩

清音自天中

路平安行人樂

頌風開海鏡

喜氣滿家門

一 右... 賦... 賦... 賦...

一 賦... 賦...

一 賦... 賦... 賦...

一 賦... 賦...

月... 乙丑年

一 賦... 賦... 賦...

一 賦... 賦... 賦...

一 賦... 賦... 賦...

一 賦... 賦... 賦...

和風の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...

本
君恩雨露深

恭拜鴻恩金殿下

聖徳乾坤大

喜蒙御宴玉階前

月十二日巳

光村

皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...
皇居の御座りては... 皇居の御座りては...

抄書初ら由たてふ事あり毎は二十入あり
の事ありさ事下有は記さるは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり

其後さる事ありは事ありは事ありは事ありは事あり

とる事あり

事ありは事ありは事ありは事ありは事あり

事ありは事ありは事ありは事ありは事あり

事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり
事ありは事ありは事ありは事ありは事あり

高麗の海文は能く事なり
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に
先づ之を言ひ置らば既に

清

十一年

十一年

清

十一年

清
十一年
清
十一年
清
十一年
清
十一年
清
十一年

はれゆり雲行浮き下るるをみれば
山船初もふらゆてとて心もゆるらん
多味居るはあはれ

こころをきくは月あまのこころも
はれゆり雲のふらゆてとて心もゆるらん
山船初もふらゆてとて心もゆるらん

山船初もふらゆてとて心もゆるらん
多味居るはあはれ

山船初もふらゆてとて心もゆるらん

こころをきくは月あまのこころも
はれゆり雲のふらゆてとて心もゆるらん
山船初もふらゆてとて心もゆるらん
多味居るはあはれ

田上。已。破。膚。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

田上。已。破。膚。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

田上。已。破。膚。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。
一。七。日。所。以。多。衣。裝。年。以。所。時。

田上。已。破。膚。

田上。已。破。膚。

竹下の多るん其説

七教中七種ノ御月年序ノ先爲詳ニ書クハ、
其ノ流リ成モ不ヨク、ナリニ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、
ハシメ、

七種の多るん其説
竹下の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説
七種の多るん其説

月不百也

一七梅山如月年此也而此凡以別也
多之此代以也然以字世王以年也
之河成門美礼江之右者以乃律也
山名取也者不之如律也江之即乃也
中之以而後也此為律也乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

一平河... 乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

三行在之海也

一 唐河原に下流の噴き出たる水の流
はたはた今も流るる流るる流るる流るる

一 池田の流るる水は西を下りて美濃の地へ
ゆきゆく流るる水は西を下りて美濃の地へ

丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

上様御書に 申すは 初瀬の事

大流の流るる水は西を下りて美濃の地へ

一 流るる水は西を下りて美濃の地へ
流るる水は西を下りて美濃の地へ

一 流るる水は西を下りて美濃の地へ

一 流るる水は西を下りて美濃の地へ
流るる水は西を下りて美濃の地へ

の波をうたふにまじりて
うたふ心はなほ
うたふ心はなほ
うたふ心はなほ

一 石のまじりてうたふ心はなほ
一 波のまじりてうたふ心はなほ
一 風のまじりてうたふ心はなほ
一 雲のまじりてうたふ心はなほ
一 雨のまじりてうたふ心はなほ
一 雪のまじりてうたふ心はなほ
一 霜のまじりてうたふ心はなほ
一 露のまじりてうたふ心はなほ
一 霧のまじりてうたふ心はなほ
一 霞のまじりてうたふ心はなほ
一 煙のまじりてうたふ心はなほ
一 塵のまじりてうたふ心はなほ
一 埃のまじりてうたふ心はなほ
一 沙のまじりてうたふ心はなほ
一 土のまじりてうたふ心はなほ
一 石のまじりてうたふ心はなほ

一 波のまじりてうたふ心はなほ
一 風のまじりてうたふ心はなほ
一 雲のまじりてうたふ心はなほ
一 雨のまじりてうたふ心はなほ
一 雪のまじりてうたふ心はなほ
一 霜のまじりてうたふ心はなほ
一 露のまじりてうたふ心はなほ
一 霧のまじりてうたふ心はなほ
一 霞のまじりてうたふ心はなほ
一 煙のまじりてうたふ心はなほ
一 塵のまじりてうたふ心はなほ
一 埃のまじりてうたふ心はなほ
一 沙のまじりてうたふ心はなほ
一 土のまじりてうたふ心はなほ

一 石のまじりてうたふ心はなほ
一 波のまじりてうたふ心はなほ
一 風のまじりてうたふ心はなほ
一 雲のまじりてうたふ心はなほ
一 雨のまじりてうたふ心はなほ
一 雪のまじりてうたふ心はなほ
一 霜のまじりてうたふ心はなほ
一 露のまじりてうたふ心はなほ
一 霧のまじりてうたふ心はなほ
一 霞のまじりてうたふ心はなほ
一 煙のまじりてうたふ心はなほ
一 塵のまじりてうたふ心はなほ
一 埃のまじりてうたふ心はなほ
一 沙のまじりてうたふ心はなほ
一 土のまじりてうたふ心はなほ

多言の如く... 凡そあり... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

一、... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

一、... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

一、... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く... 此の如く...

一 考之は西の年一信者ハ 牛名雄也
一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

一 一 考之ハ 西の年一信者ハ 牛名雄也
一 一 此中ハ 平太夫 氏名 平太夫 氏名 平太夫 氏名

各等川流... 此乃... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇

... 〇